

港湾業務艇を使った離島における物資輸送訓練を実施します

～命のみなとネットワーク形成に向けた取組～

国土交通省は、みなとの機能を最大限活用した災害対応のための物流・人流ネットワーク「命のみなとネットワーク」の形成に向けた取組を進めています。

このたび、稚内開発建設部は、利尻富士町が主催する「令和8年度 利尻富士町防災訓練」に参加し、港湾業務艇（りんどう）を活用した物資輸送訓練を実施します。

本訓練を通じ、災害時における陸路の寸断や地域の孤立に備えます。

記

1. 内 容 利尻富士町が主催する「救援物資受入れ訓練」のうち、港湾業務艇（りんどう）を使った物資輸送訓練
2. 日 時 令和8年5月23日（土）9時00分～10時30分
3. 場 所 （出発）稚内港
（到着）鴛泊港
4. 添付資料 別紙1：「命のみなとネットワーク」について
別紙2：令和8年度利尻富士町防災訓練
別紙3：訓練場所位置図
別紙4：訓練の状況写真申込書
5. そ の 他 訓練の取材や状況写真の提供を希望される場合は、「申込書」にてお申し込みください。なお、天候等の事情により、主催元の利尻富士町の訓練が中止となる場合がありますので、ご了承ください。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 稚内開発建設部
築港課 課長補佐 梅田 聡之 電話 0162-33-1160
稚内開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/wk/>



国土交通省 北海道開発局 稚内開発建設部
稚内港湾事務所 第3工務課長 西澤 英樹 電話 0162-33-2758
稚内開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/wk/>

「命のみなとネットワーク」について

- 豪雨による洪水や土砂災害等により陸路が寸断し孤立化した被災地において、緊急物資や救援部隊、被災者等の海上輸送の事例が増えつつある。
- こうした状況を踏まえ、“みなと”の機能を最大限活用した災害対応のための物流・人流ネットワークを「命のみなとネットワーク」と名付け、各地域で、防災訓練の実施などネットワーク形成に向けた取組を進めている。

「命のみなとネットワーク」の主な機能

【支援物資輸送拠点】



【被災者の救援輸送拠点】



【生活支援拠点】



「命のみなとネットワーク」形成に向けた取組



災害支援協定の締結 [令和6年3月]
(宮古市(右から2人目が山本市長)と
国土省釜石港湾事務所)



令和 8 年度 利尻富士町防災訓練

訓練目的

この訓練は、防災に関する知識の普及を図るとともに、防災意識を高めて、町の防災力向上に努める。

訓練日時

令和 8 年 5 月 2 3 日（土） 8 : 3 0 ~ 1 2 : 0 0

訓練会場

利尻富士町役場、鯉泊自治会館

訓練項目

- ・ 避難情報伝達訓練
- ・ 住民避難
- ・ 避難所運営訓練
- ・ 物資輸送訓練
 - 避難所へ物資輸送
 - 役場庁舎へ物資輸送（稚内港～鴛泊港の海上輸送は稚内港湾事務所が参加）

鯉泊自治会館

- ・ 段ボールベッド組立
- ・ アルファ米調理
- ・ 防災講話

主催

利尻富士町

参加機関・団体

国土交通省（稚内港湾事務所）

訓練場所位置図

稚内港

鴛泊港



国土交通省 北海道開発局

稚内開発建設部 稚内港湾事務所 第3工務課長 西澤 宛

申込先

メールアドレス: nishizawa-h22aa@mlit.go.jp

FAX: 0162-34-1757

『港湾業務艇による物資輸送訓練』 訓練の状況写真申込書

訓練の状況写真を希望される場合は、本申込書により、メールまたはFAXにてお申込みください。

申込締切は、5月21日(木)です。

申込日 : 令和 年 月 日

会社名及び部署	
取材者氏名	
連絡先 (TEL)	
メールアドレス	

※ ご記入いただいた個人情報は、本訓練以外の目的には使用いたしません。